

庁議会議概要

開催日時 令和6年9月26日（木） 午前10時02分～午前10時49分

出席者 庁議規程のとおり

案件 I 令和7年度予算編成方針（案）について

II その他

I 令和7年度予算編成方針（案）について

（企画財政部財政課）

○要旨

令和7年度予算編成方針（案）の確認及び意見聴取

○意見等

- ・財政状況が厳しいことは十分理解しているが、各事業課にはやるべきことや新たな取組もあるため、前年度予算を超えた提案について、なぜ予算が増えるのか、新たな取組が必要なのかを十分に聞き、必要な事業であれば予算化するなどの配慮をしていただきたい。
- ・予算要求について、個別の事情を踏まえ、前年度の一般財源を超えた場合でも受け取らないことはない。ただし、超過分を含めて来年度当初予算に反映できるかどうかは別の問題であり、事業提案の査定結果なども踏まえ、全体予算の中で調整を行う。

（宮本市長）

- ・これまで収支均衡を基本として予算編成を行ってきたが、予算要求する際は、各部局で事業費が増加している部分について削減の余地を見出し、新たな事業費を捻出する努力をした上で、予算要求することが本来の姿だと考える。
- ・新規事業の場合も、単純に予算を積み上げるのではなく将来の見通しを立てて検討していただきたい。
- ・収支見通しについては、内部で精査を進める中で収入増が見込まれる場合もあるため、大まかなトレンドを把握するためのものであり絶対的なものではない。今後もトレンドの方向性をしっかり理解しながら進めていただきたい。

II その他

「データ分析・活用による少子化対策施策立案（門真市の人口分析等について）」

（企画財政部企画課）

○要旨

「データ分析・活用による少子化対策施策立案（門真市の人口分析等について）」の確認及び意見聴取

○意見等

- ・住宅や産業分野からの分析については今年度実施が難しいので、来年度以降に必要だと判断すれば予算を要求する。
- ・転出の原因を分析しなければ有効な対策の検討は難しいと考える。受託事業者は定量的なデータ分析

が得意だと考えられるが、定性的な部分は市役所など行政と協議しながら進める必要がある。その意味で、この取り組みは共創事業に適していると感じる。

(宮本市長)

- ・特徴的なのは、令和5年の社会動態において、女性の社会増減の数字が一気に改善した点である。この要因としては、ららぽーと門真の横のマンションや周辺の商業施設の影響が大きいのではないかと考える。また、門真市駅から西三荘駅周辺では、新たにワンルームの集合住宅が増えている実感もある。これらを踏まえ、まちづくり部と連携し、住宅と社会動態との関連性を整理していただきたい。